

アグリサイエンス科通信



アグリサイエンス科通信 NO.5 令和3年10月28日発行

発行：京都府立丹後緑風高校久美浜学舎 編集：アグリサイエンス科



Top News

学校公開報告

10月17日（日）午後、中学校3年生向けに秋の学校公開を行いました。まず、学科説明では、山崎悠樹さん（生産コース）、吉岡来夢さん（食品コース）がそれぞれ学校や科、コースを選択した理由や現在の学習内容、将来について語ってくれました。

続いて授業公開では、生産コースは「課題研究」で取り組んでいる3つの研究内容（①松林再生について、②ウニ・ヒトデ堆肥の活用、③しょう油粕の活用）の説明をし、食品コースはカボチャのカップケーキ製造の様子を見学してもらいました。



先進地視察研修

10月20日（水）、京都府農林水産部との連携事業で、①YASAI（舞鶴市）と②京都府立農業大学校（綾部市）の視察・研修を行いました。

①（株）YASAIは現在使われていない小学校を活用してレタスなどの野菜を水耕栽培されている企業です。水耕栽培の仕組みやメリット・デメリットを丁寧に説明していただき、体育館内の水耕栽培の様子も見学させていただきました。

②京都府立農業大学校は、主に野菜や花き、茶業について学ぶことができる学校です。

生徒は学校説明のあと、機械庫などの施設見学や、隣接する畜産センターで、乳牛と触れ合うなどの体験をさせていただきました。



わくわく Kitchen④

10月21日（木）食品コースでは、紫野和久様にお世話になり、わくわく kitchen ④を実施しました。

コロナ禍で4か月ぶりの実施となり、生徒は大変楽しみにしていました。

今回のメニューは、丹後の伝統食をリクエストし、①丹後バラ寿司、②汁物（ハタハタと茄子のすまし汁）を教えてくださいました。

生徒達は、手際よく分担して調理し、丹後地方の伝統食品を仕上げました。



アグリサイエンス科一期生の声



安達 智規
(網野中)

食品コース楽しいよ！！

農業の魅力

・自分たちで野菜を一から育ててそれを収穫すること。

食品コースの魅力

・新しいことにチャレンジし、失敗しても成功しても楽しく食品のことを学べる！

一番の思い出

・京都製菓製パン技術専門学校
の視察研修



内海 美咲

軽音楽部、吹奏楽部

何かを栽培したり、育てたりすることは楽しいことだと思っています。

農業の魅力

・育てる・栽培する楽しさを知ることができる。

生産コースの魅力

・1年生で栽培することがなかった野菜や果樹を育てられる。

一番の思い出

・京都先端科学大学の視察研修



岡田 来夢
(久美浜中)

ソフトテニス部

自分がやってみたいと思うことに挑戦できる楽しい学校です！！

農業の魅力

・最初は、爪に土が入るからとかカエルがいるからいやだなと思っていたけれど、一つ一つ自分で栽培し収穫できて達成感がある。

食品コースの魅力

・お菓子を作ったりできるし、いろんなことに挑戦できる。

部活動

・ソフトテニス部では、男子が多く、一緒に練習すると強いボールでとれないときもあるけれど、とろうと努力してうまくなれる。

農場の先生紹介 part 4

平野 正樹 先生

担当教目：野菜、課題研究、総合実習
フローラルアート

生徒の皆さんと一緒に、温室やハウスにてメロン・トマトなどを栽培しています。



アグリサイエンス科では、栽培技術の習得だけではなく、科学的に物事を考える力を育成します。

京都新聞窓欄への掲載

(先月号からの続き)

- ⑨ 9月29日 小西 央花 (江陽中)
「食料自給率 向上させたい」
- ⑩ 10月13日 吉岡 来夢 (網野中)
「プロのてほどき 実習大切」

これで食品コース10名全員の文章を掲載していただきました。生徒は文章を書くことの楽しさも感じ、自信もついたようです。生徒によっては周りからかなりの声掛けや反応があったようです。

現在、2、3作目に取り組んでいます。
京都新聞、毎水曜日は御注目ください！！